

高松市少年育成センターだより



# はぐくみ

第29号 2013年 7月

編集・発行

高松市教育委員会教育 局

少年 育 成 セ ン タ ー

高松市番町一丁目8番15号

(高松市役所10階)

Tel (087) 839-2635

E-mail:kusei@city.takamatsu.lg.jp

## 『心かよわす健全育成!』高松市少年育成委員委嘱式



### 感謝状受賞者

#### 10年以上

小島 常文            井上 泉  
鈴鹿麻由美        内田 平久

#### 5年以上

大石 耕史            上島 昇二郎  
神原 隆司            磯野 尚美  
植田 陽一            溝淵 隆弘  
香西 健二            涌嶋 徹壽

【敬称略】

平成25年6月5日(水)市役所大会議室において、本年度の異動等により、新たに少年育成委員になられた89名の方々に、岸本副市長より委嘱状が渡されました。昨年度からの委員を含めた353名の力を結集して、非行防止のための街頭補導・環境浄化活動・相談活動等をはじめ、少年育成センターや関係機関と連携を図るとともに、登下校時の子どもたちの安全確保についてお願いをいたしました。

本年度は、新委員を代表して、鶴尾校区の西久保 誠さんが育成委員としての自覚の下に関係機関や諸団体と連携を図り、将来を担う子どもたちの健全育成に取り組む決意を述べられました。

また、永年にわたり少年育成委員として御尽力いただきました12名の方々に、市および少年育成委員連絡協議会より感謝状が贈呈されました。

続いての研修会では、香川県警察本部生活安全部少年課課長補佐の井上裕子氏より御講話をいただきました。最初に、昨年の非行少年検挙補導状況をまとめた資料を基に説明があり、「県内の非行少年総数は減少しているものの、千人あたりに換算すると万引きをはじめ全国ワースト10以内の項目が多く、依然、厳しい状況が続いており、県警としても適切な指導の流れを確立することが非行や全国平均を上回る再犯率の抑制にもつながると考えています。特に補導活動で重要なことは、相手の目線に合わせる・会話のポイントをつかむ等、指導だけが補導でなく、「声かけが心を開く第一歩」と信じて取り組んで降りますことから、委員の皆様方の声かけ活動が地域に広がり、未来ある子どもたちの健全育成の大きな力となることを期待しています。」との御指導ならびに力強いお言葉をいただきました。





# 校区の活動紹介



## 香南校区

## 川島校区



まちづくりフェスティバルin香南



SOSパトロール車

今年5月、新しく完成した香南コミュニティセンターのグランドオープンイベント「まちづくりフェスティバル in 香南」が開催されました。

香南校区の青少年健全育成連絡協議会は、このコミュニティセンターを活動拠点としている団体等の皆様と協力して、子どもたちの健全育成活動に取り組んでいます。

毎月10日・20日には「あいさつは まず大人から 家庭から」を合言葉に、子どもたちの登校時間帯に合わせた「おはよう」の声かけを行うあいさつ運動を展開しています。

また、毎週木曜日には、老人クラブのメンバーでつくる地域安全パトロール隊「香南防犯 子ども見守りたい」が登下校の時間帯を中心に通学路をパトロールし、子どもたちの安全確保に努めています。

その他、子ども SOS の設置、少年育成委員による街頭補導、コミュニティ協議会による交通安全キャンペーン等も実施しており、これからも「地域の子どもは地域で守り育てる」という気持ちを忘れず、活動を継続してまいります。

川島校区の健全育成は、コミュニティ協議会を中心に展開しています。子ども SOS パトロールは、川島校区青少年健全育成連絡協議会（市民会議）と長寿会が下校時間に合わせ、不審者の出没防止や交通安全・危険行為の防止を目的に週3回1時間のパトロールに取り組んでいます。

また、交通安全母の会を中心に学校・PTA・子ども育成会・民生委員・長寿会の協力を得て交通安全活動の一環として街頭補導やあいさつ運動に取り組んでいます。補導活動では、育成委員・少年警察補導委員・地域安全推進委員・民生委員が校区内の公園・神社・量販店・ゲームセンターなどを中心に青パトで巡視しています。

緊急避難場所 SOS 活動では、学校・PTA・子ども育成会が中心となり、訪問調査や看板の点検をしています。その他、山田中ブロックで山ぐり運動を展開中です。山田校区として5校の小・中学校が連携してあいさつ運動を実施し、各校の玄関では子ども達が誓いを込め作成したどんぐりのキャラクター人形が迎えてくれます。こうした活動は、校区住民の協力により実施されています。



交通安全キャンペーン



やまぐり運動

# 見直そう！家庭での携帯電話のルール！

今年3月、日本PTA全国協議会の「子どもとメディアに関する意識調査」の結果報告書が出された。その中で、携帯電話を持っている中学2年の40%超が「深夜でもかまわずメールのやりとりをしてしまう」と答えている。また、昼間のやりとりも含め「返信がないととても不安になる」と考えている割合は20%近くに上がっていた。深夜にメールのやりとりする中2は43%で、小5は7%。返信がないと不安に感じる中2は19%で、小5では15%だった。「親の知らないメル友がたくさんいる」は、中2で31%、小5は4%。

また、深夜にメールを送信しないなど家庭での利用時間のルールを決めていると答えた中2は23%だったが、ルールがあるとした保護者は59%おり、親子で意識の違いが浮き彫りになった。

## ペアレンタル・コントロール

携帯電話使用について親子の約束やルールを見直しましょう！

なぜ携帯電話が必要なのか、話し合ってみましたか。

持たせるのなら覚悟を……

注意・約束

- ・フィルターの利用、ルール作り
- ・受発信のマナー・モラル
- ・使用時間制限
- ・ネットコミュニケーションのリスク
- ・各種サイト（ブラック、グレーのリスク）
- ・料金・決済制限
- ・健康管理

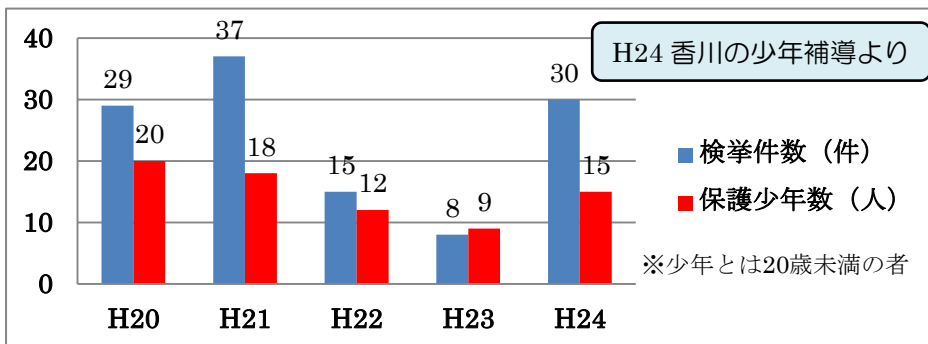
見守り

- ・直接的（利用歴、共用等）
- ・間接的監視（料金表、遠隔ロック）
- ・生活変化見守り

相談・指導

- ・相談
- ・トラブル解決
- ・評価し、ほめる

県下の出会い系サイト等に関連した福祉犯事件の検挙・保護状況



出会い系サイト等（コミュニティサイトを含む）での事件は減少傾向でしたが、H24年は増加しています。ネットでも知り合った人とは絶対に会わないことが大切です！

困ったときは相談窓口へ

香川県警サイバー犯罪対策室 (087) 833-0110

香川県教育センター (087) 813-0760(平日 8:30~17:00)

(香川県教育委員会のホームページにメールフォームあり)

香川県消費生活センター (087) 833-0999(平日 8:30~17:00)

e-mail z0999@pref.kagawa.lg.jp

子どもたちとともに

はな あ わ や ぼうはん

# 話し合ってみよう！我が家の防犯ルール



しつもん し ひと こえ  
**質問 知らない人に声をかけられたら？**

こた  
**答え**

- イカ
- の
- お
- す
- し

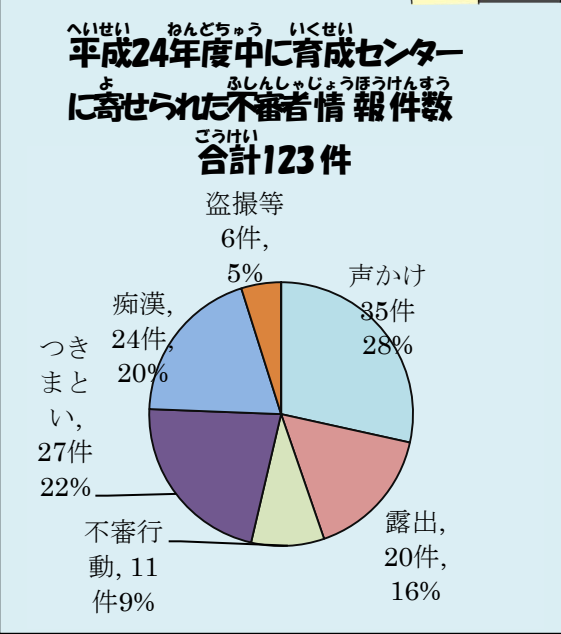
し 知らない人についでいかなみ！

し 知らない人の車にのらない！

たす 「助けて！」とおおこえをあ

すぐに逃げる

しゅうい おとな し 周囲の大人に知らせる



**こどもスマイルテレホン** TEL839-2525

少年育成センターでは、不登校やいじめ、友人・家族関係など、学校や家庭での問題について児童生徒・保護者からの相談に応じています。

《ひとりで悩まず 早めに相談を》

ひとりで悩まずに・・・地域でも相談することができます

これまでに少年相談員研修を受講された方々を御紹介します。【敬称略】

子どもたちや保護者の方は、悩みや問題についてお気軽に御相談ください。

(新番丁)	斎藤雅春	(亀阜)	高橋道一	(高松第一)	筒井建策	逢坂美樹	松下徹行
(花園)	松原綾子	(栗林)	松本加代子	(木太南)	喜田清美	植田泰三	多田 治
飯野壽子	(木太)	川西利實	森岡佐保理	斎木真理子	三上淳子	平尾佳弘	(木太北部)
大河内育代	青野ひとみ	(太田)	藪内君子	(中央)	奈良茂子	(太田南)	矢嶋静子
(鶴尾)	増田弘三	堀江孝一	喜田良延	(古高松)	井藁智英美	十河節子	(古高松南)
長町隆司	芳田洋子	吉兼淳子	(前田)	鹿谷久美子	六車由佳	神内絹代	(川添)
葛西富美	佐原美紀	二宮久美子	(仏生山)	漆原和代	佐次頼治	岡澤純代	植松宏子
杉ノ内仁	伊藤幸治	(一宮)	大山和徳	渡邊庄平	(川岡)	中山節子	(円座)
野網朝二郎	葛西優子	(香西)	佐藤隆男	尾崎郁生	(弦打)	山崎佐由美	(鬼無)
久保美智子	平木元基	(女木)	山本勝治	(川島)	佐野 新	香川千穂	(十河)
十河昌基	(東植田)	毛利貴子	秋山みちよ	(塩江)	市原 武	光本信一	(庵治)
尾野 健	(浅野)	藤澤 正	(川東)	青木弘之	(国分寺北部)	後藤千代	(国分寺南部)
小松由美							